

地域脱炭素マッチング会 第3回函館会場

市民風力発電の取組みのご紹介

2025年10月22日
株式会社市民風力発電



株式会社市民風力発電について

2001年北海道浜頓別町において日本初の市民出資による風力発電所「はまかぜ」ちゃんの運転開始以降、北海道・東北を中心に28発電所、60基、約130MWの風力発電所を開発・建設してまいりました。地域性と専門性を兼ね備えたローカルな風力専門会社として、開発・資金調達・保守メンテナンスまでトータルな業務を提供しております。

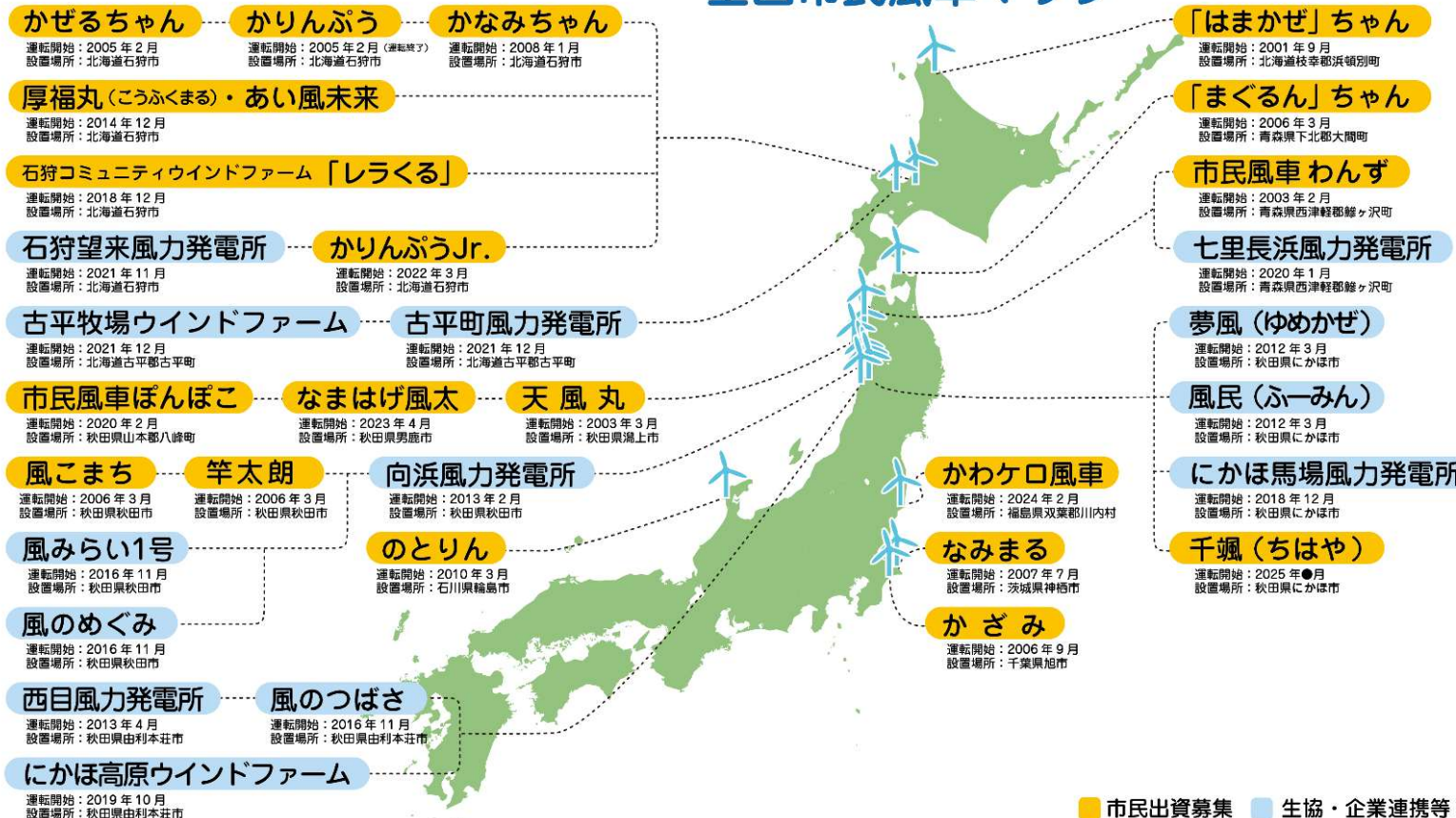
法人名	株式会社市民風力発電(CWP)
設立	2001年2月
所在地	本社：北海道札幌市中央区北5条西2丁目JRタワーオフィスプラザさっぽろ20階 東京オフィス：東京都港区虎ノ門1丁目1-20虎ノ門実業会館6階 秋田営業所：秋田県秋田市飯島字砂田107-4 青森営業所：青森県つがる市柏上古川八重崎175番
資本金等	1億8,810万円(内資本準備金 1,150万円)
運営体制	代表取締役：鈴木 亨 取締役：滝本しのぶ、吉住 謙 監査役：柴口 仁
関連法人	NPO法人北海道グリーンファンド、株式会社CSS 株式会社ウェンティ・ジャパン、バイオマスリサーチ株式会社他 事業目的会社(風力発電事業者)等 約40社
主な事業	- 風力発電事業への投資および企画立案、各種調査、風況解析、電力協議ファイナンス組成など、開発業務全般 - 風力発電事業の管理運営および風力発電設備のオペレーション・メンテナンス業務など、操業管理全般

市民風車の実績

開発実績60基 設備容量約130MW

* 2025年4月現在

全国市民風車マップ



市民風車「はまかぜ」ちゃんを皮切りに現在も全国各地でプロジェクトが進行中。地域を吹く風からグリーンなエネルギーをつくり、地域活性化に貢献しています。

市民出資募集風車: 25基
市民出資総額: 約28億円
出資者数: 4,980人



風車のニックネームは地域の小中学校から公募しました。

1. 北海道石狩市

<石狩湾新港エリア>

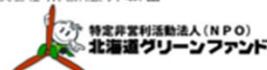
- ①2005年に運転開始した市民風車「かぜるちゃん」(1,500kW)、「かりんぷう」(1,650kW)においては、石狩市との連携のもと、石狩市民を含む市民出資(2億3千万円)により建設。
- ②2008年「かなみちゃん」(1,670kW)を市民出資(2億3千万円)により建設、運転開始。
- ③2018年コミュニティウインドファーム「レラくる」(20,000kW)をプロジェクトファイナンスと市民出資の融合スキームにより建設、運転開始。
- ④2022年「かりんぷうJr」(1,650kW)をプロジェクトファイナンスと市民出資の融合スキームにより建設、運転開始。
- ⑤2024年からは「かぜるちゃん」の電気をFIP転/オフサイトPPAのスキームにより、市内の全小中学校に電力供給し、20年継続してきた市内小中学生の風車見学会と併せ環境教育に活用している。



「かぜるちゃん」の電気 石狩市内小中学校等へ供給(2024年5月)

Community Wind Power

株式会社 市民風力発電



© NPO法人北海道グリーンファンド

市民風車「かぜるちゃん」

FITからFIPに移行
(発電事業者)アグリゲーターとして
地域の再エネ電源集約
(特定卸供給事業者)

王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社

小売電気事業者として
地域に再エネ由来の電力供給
(小売電気事業者)FIP化風力発電による再生可能エネルギー
地産地活モデルの構築

- ・ゼロカーボンシティ実現に向けた電力の脱炭素化
- ・再エネ電源による電力価格の抑制

令和7年度も継続

2024年5月1日～
石狩市民プール2024年7月1日～
石狩市内の小中学校(15校)

生振小学校	浜益小学校
南線小学校	旧石狩小学校
双葉小学校	石狩中学校
花川南小学校	花川中学校
紅南小学校	花川南中学校
八幡小学校	花川北中学校
緑苑台小学校	樽川中学校
花川小学校	

その他市内公共施設7ヶ所

- 【実証期間】 令和6年5月 から 令和7年6月末 まで
- 【供給電力】 年間 **3,400,000 kWh** 程度 ※2022年度かぜるちゃん発電量
- 【供給方法】 一般系統線(北電の送電線網)で託送
- 【実証施設】 内小中学校15校など計23施設(年間需要 **約3,300,000 kWh**)
※ CO₂排出量 約1,370 t (2022年度) の削減 / 公共施設全体の約20%



1. 北海道石狩市

<厚田区エリア>

①2014年に運転開始した「あい風未来」「厚福丸」(4,000kW)では市民出資に加え、売電収入の一部を石狩市が制定した「環境まちづくり基金条例」に基づく基金に拠出し、森づくりや森林整備、自然環境保全、市施設の省エネ機器導入、市民への省エネ家電購入補助等に運用している。また市民出資の配当の一部を「あい風市民風車基金」として、厚田支所と連携のもと延べ68の住民団体の活動支援に活用している。

